

2013~2014年度))) RI会長)ロン) D・パートン) 『ロータリーを実践して)みんなに豊かな人生を』 

国際ロータリー 第2570地区

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511 〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川1-24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366 http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp

会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見) 淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

[第3グループ内の例会日]

狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火) 所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

# 第 983 回(2 月 25 日)例会の記録

点 鐘 合 唱 第2副SAA ビジター

栗原憲司会長 手にて手つないで 吉川君、吉松君

石田 嵩様(新狭山RC) 有山幸雄様(入会希望者)

### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	28 名	78.13%	78.79%

# |パスト会長の時間

#### 小澤泰衞パスト会長

#### 『対外交渉について』

日米など12ヵ国が参加 する環太平洋経済連携協 定(TPP)の交渉は、2013 年妥結という目標を達成 できず本年度に交渉が持 ち越された。

TPP は、原則として全 ての関税を撤廃すると共



に、投資や知的財産など貿易に関する様々なルー ルを統一した自由貿易圏を作ることを目指す協定 であるが、13年3月に参加を表明した日本は、農 産物の重要 5 項目(米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、 甘味資源作物)の関税撤廃を巡って全廃を主張す る米国と見解が相違し溝が埋まらないばかりか、 自動車の関税についても妥協が得られないなど相 互の主張は平行線を辿った。同年12月にシンガポ ールで開催された閣僚会合でも、病気療養中の甘 利大臣に代わって出席した内閣府の西村副大臣は 米国に対し、「譲れないものは1ミリも譲らない」 と反論するなどお互いの主張の隔たりから交渉は 事実上中断(事務レベルで協議中)している。本 年 11 月に議会の中間選挙を控えた米国は TPP を 最優先課題と位置付け、次回開催される TPP の閣 僚会合で交渉を主導し自国にとって有利な条件で 妥結するための主張を展開することが予想される。

TPP 交渉は、参加 12 ヵ国の国内総生産(GDP) の80%近くを占める日米間の妥結の有無が鍵を握 っており、そして、その帰趨は21世紀の日本経済 の命運を左右する重要な課題であることから「守 るべきものは守り、攻めるものは攻める交渉」を 強力に展開して日本の国益を守って頂きたい、と 願っている。

ところで、日本人は日本人が持つ特性でもある が、政治・経済を初めとして様々な問題に関する 「対外交渉」を強引に行うことが不得手な人種で あることは論を俟たない。

確かに黒船の来航で200年以上続いた鎖国時代 が終わり海外に門戸を開いた日本は、経済面で初 めての対外通貨問題に直面したほか、現在に至る まで為替交渉、経済交渉を初めとした広範な問題 について「厳しい対外交渉」に直面してきた経緯 はあるが、現在でも交渉力は欧米の方が一枚も二 枚も上なのが現状であり、日本主導で世界経済を 動かすことができるような交渉力を持てる日は、 果たして来るのであろうかと危ぶむ昨今である。 それでは、日本が最初に直面したペリーの来航に よる国際化の幕開けの際の「対外通貨問題」とは どのような事態だったのだろうか。著述家の泉秀 樹氏が「歴史のその時」で紹介されている内容は、 概略次の通りである。

1853年(嘉永6年)米国の東インド艦隊司令官 ペリーが率いる 4 隻の黒船が三浦半島の先端に近 い浦賀沖に来航し開国を迫った。国際社会の情報 を持っていない日本は混乱・恐慌状態に陥った。 幕府首脳は「和親の国禁、交易は国力の衰微の本 なり」と言う見当違いな意見もあって何等の対処 ができなかったし、知識人も一般大衆もどうして 良いのか分からないまま右往左往するばかりであ った。ペリーは翌年再来訪することを宣言して去 ったが、翌 1854 年 (嘉永 7 年) 予告通りに再び 来日した。この間に幕府も勝海舟など優秀な人材 の登用、大船の建造、海軍伝習所の開設など様々 な手を懸命に打ってはいたものの全てが手遅れと なり、暗愚な13代将軍家定を抱えた幕府は追い詰

められ、横浜で「日米和親条約」を締結すること を余儀なくされた。

日本は良いに付け、悪いに付けペリーによって 選択を迫られた結果、正式に開国し国際社会の一 員としての歩みを始めたが、すぐに通貨の問題す なわち「彼我の通貨レートの決定問題」に直面し た。

米国の総領事タウンゼント・ハリスは、幕府に 対し「ドルと両の交換レート」を1ドル=一両とす るよう強硬に申し入れるとともに、国際的なレー トに関する幕府の知識不足を利用し、1 ドル銀貨= 一分銀3枚(一分銀は一両の1/4の価値)1ドル 銀貨 100 枚=一分銀 311 枚という交換レートを認 めさせた。一分銀 311 枚は小判 77 両 3 分に相当 し 132.5 匁=497.75g (1 匁=3.75g) の金を含有し ていたので、この交換レートを利用した米国人は 入手した一分銀を早速小判に両替して国外に持ち 出し、地金として売り払って約300ドルの利益を 得たという。幕府も遅ればせながら一分銀と小判 の交換の禁止、交換手数料の徴収などの措置を執 ったものの、1859年の8月下旬以降僅か2ヵ月半 程度の間に集中的に820~860万両に上る貴重な金 貨が日本から垂れ流し的に流出したという。

こうした一連の動きを見ていると、初交渉とは 言え、当時の幕府が如何に外交・為替オンチであったかがはっきり判ってくる。そして、このこと は近時の数十年間に亙って、米国の大統領や政府 高官或は議会が自国にとって不利になるような日 本の経済政策や金利政策或いは通商問題について 様々な見直しを迫ってくると、日本はその申し入 れをほぼ受け入れている情報に接するに付け、私 にとって日本の「対外交渉力」はそれ程進化して いるとは考えられない。

# 幹事報告

宮野幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 3・4 月プログラム承認
- (2) 次期地区委員承認
- (3) モンゴル干ばつ防止植樹訪問

6月13~16日実施

- 1.「ロータリー希望の風奨学金」返金経緯等について
- 2. 米山記念奨学生、世話クラブ引き受け依頼について
- 3. R I 第 2750 地区主催シンポジュームへの参加以来について
- 4. 次期地区役員承認について
- 5. 第3グループ第4回会長幹事会開催について
- 6. 第 6 回青少年を育てる狭山市民会議理事会開 催について
- 7. 受贈会報 所沢RC
- 8. 回 覧 物 朝霞 R C 創立 50 周年記念誌

# 委員会報告

### 親睦活動)))))))))))))))))))))

来週は「家族同伴日帰りバスツアー」の予定になっており、シルク・ドゥ・ソレイユ「オーヴォ」という公演をご覧頂きます。

東武サロンを駅の方に少し下ったバス乗り場に 午前8:50集合で、9:00出発、こちらへの戻り が午後7時頃を予定しております。

出席の方は体調を崩すことのないように、宜し くお願い致します。

## 国際奉仕))))))))))))))))))

ロータリー財団から多額の資金を得られました ので、今年もモンゴルへの植樹事業を行います。

6/13~6/16 の 3 泊 4 日を予定しておりますが、 HIS という旅行会社を使ってできるだけ安く行こ うということで、費用は総額で 20 万円位と考えて おります。

一度はモンゴルの植樹に、皆さん参加してみては如何と、特にまだ行っていない方には是非行って頂きたいと思います。向こう三年間に亘って行いますので、よろしくお願い致します。

## 「イニシエーション・スピーチ」・ ・ ・ 佐々木 康会員

昨年 11 月に狭山中央ロータリークラブに入会書士をしております。司法書士をしております。司法書士のように人の前に立って話をするということがのませんので、非常に今日は緊張しております。お聞



き苦しい点もあるかと思いますが、温かい気持ち で聞いて頂ければ幸いに思います。

ロータリークラブに参加するようになって、最 初に戸惑ったことは、聞きなれない単語が出てく ることでした。「ニコニコ」や「パスト会長」、或 いは「卓話」「ガバナー」と、その都度帰ってイン ターネットで意味を調べおりましたが、1 月最初 の例会で「イニシエーションスピーチをお願いし ます」と言われた時に、なんの事だろうといった 感じで、どのような話をすれば良いのかとお聞き しました。仕事のことでも、ロータリーに入って 何をしたいかということでも、何でも良いので話 をして下さいと言われましたが、漠然としていて わからなかったので、また帰ってインターネット で調べましたところ、ロータリークラブに入会し たときの通過儀式のような形で単語の意味が書か れており、さらに調べて行きましたところ、狭山 中央ロータリークラブでも過去にイニシエーショ

ンスピーチをされている方がインターネットにのっておりましたので、何名か読ませて頂きました。しかし読んでみて、皆さん非常に素晴らしいスピーチをされており、読まなければよかったと少し後悔致しました。これは困ったと、ここであまり恥ずかしいお話をするのはどうかと思いつつも、嘘をお話して飾る訳にもいきませんので、私の歩んできた人生を少しでもご紹介させて頂ければと、今日は思っております。

私は 1965 年、東京都練馬区に生まれました。 練馬区といいましても、今は都会ですが、今から 50 年近く前はまだキャベツ畑が家の周りにある ような感じで、今の狭山に近いような場所もあり、 近くのどぶ川や池でドジョウをとったり、魚釣り をしたりと、自然に恵まれて遊んでおりました。 父と母がクリスチャンだったため、子供の頃から ずっと教会に行っており、私も中学生になった時 に洗礼を受け、その後クリスチャンとして教会に 通っておりました。

小学校 4 年生の夏に所沢へ引っ越したのですが、新しい小学校が新設されるということで、5 年生になるときには新設された小学校に移りました。その時は 6 年生がいなかったので、5 年生が最少ででは、その時の担任の先生が非常にサッカーを始め、小学校の5~6 年生、そしまりで、からではありましたが、一生懸命頑張ってきたつもりで、あまり得きたったが、一生懸命頑張ってきたつしまい、他でしたが、一生懸命頑張ってきたつしまい。他間板へルニアということで、なかなかスポーツをしかし中学校3 年生の時に腰を痛めてしまい、結局高校1年生のときにはかすった続けることが出来なくなりました。

その後、私は勉強が嫌いで、恥ずかしながら1年 浪人をして大学に入りました。大学に入ってから は、やはり勉強よりもどちらかというとスキーや テニスといろいろなことをし、今思えば、親にお 金をだしてもらいながら、本当に勉強をせず遊ん でばかりの学生時代だったと後悔をしております。

大学で将来何をしようかと考えていた時、父が同じく司法書士をしておりましたが、父の跡を継ぐのはどうかとずっと考えておりました。その時母親にぼそっと「お父さんは跡を継いで欲しいみたいだよ」と言われ、母親の言葉にはとても弱いので、頑張ってみようと司法書士を目指すことに決めました。今考えると、これが大変なことの始まりだったのではないかと思います。

何度もお話しておりますが、私は勉強が得意ではありませんでしたが、資格を取るためにはかなり勉強をしなければなりませんでした。それでも楽観的に、何とかなるだろうと思っておりましたら、全然なんともなりませんでした。東京の他の事務所でずっと働いていたのですが、仕事が忙しく、なかなか勉強をする時間もとれないまま3年

間が経ち、そして一度父の所に戻りましたら、まず仕事よりも勉強をしろということで、仕事をしながら勉強の時間を取らせて頂きました。しかしなかなか成績が上がらず、このままではまずいと28歳の時にようやく自分自身心を入れ替え、もう一度まじめに、一から勉強を始めました。

ここですぐに取れれば恰好良い話なのですが、さらにそれから合格するまで 6 年かかってしまいました。普通は大体 3~5 年位で取るか、もしくは諦めるかということになりますが、結局合計で 12 年、資格を取るために頑張りました。資格の良い所は、1 年かかって取ろうが、12 年かかって取ろうが、資格としては同じように扱われます。そして資格が取れるといきなり一人前のように扱って頂き、仕事ができるようになります。父の事務所を受け継ぎましてなんとかやっているところです。そして 83 歳になる父もまだ現役で頑張っております。

今回、狭山中央ロータリークラブへのお誘いを 受ける前に、新狭山ロータリークラブさんからも お誘いを受けたことがあります。それは父が、・ 時新狭山ロータリークラブに入会していた関係が あったからです。その時も良く考えましたが、子 供がまだ小さく色々と忙しかったため、お断りを させて頂きました。その後古谷さんからお誘いを 受け、子供もいくらか手がかからなくなり、昼間 の例会であれば参加ができるのではないかという ことで、もともと奉仕ということに関しては漠然 とした考えではありますが、必要なことであると 思っており、個人で何ができるかというと本当に 悩んでしまいますが、ロータリークラブに入会す ることによって、そこから何かしら社会貢献がで きていけば、私の人生にとってもプラスになるの ではと考え、今回ロータリークラブに入会させて 頂きました。

まだまだ例会に参加する程度で、何もしておらず、今後も何ができるか私自身わからない状態ですが、もし自分自身が奉仕を通して社会貢献できたと思えることが見つかれば、積極的に奉仕活動に参加して行きたいと思いますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。



## 「会員卓話」・・・・・・・・・

## 坂本 松男会員

皆さんこんにちは 昨年の9月3日に皆様 方の貴重な時間を頂いて、 イニシエーションスピー チをさせて頂きまして、誠 にありがとうございました。



その時の例会スケジュー

ルが、多少ずれ込んでいた為、私の場合、原稿を 用意してお話しをさせて頂こうと思っておりまし たところ、時間の関係で、全てお話しすることが できませんでしたので、皆様方のご了解の下、予 め用意してありました、原稿を週報に載せさせて 頂きましたので、イニシエーションスピーチは終 わったことと、思っておりましたところ、先般、 益子プログラム委員長より、再度、依頼がありま したので、お話をさせて頂きたいと思いますが、 「業界用語で材料出尽くし」と言う言葉があります が、私の場合は、材料を出し尽くしとなりました ので、困っております。そこで、新しい年を迎え るに当り、一年の計は元旦にありと良く言われま すが、私も、毎年、新年を迎えるたびに、テーマ と言おうかスローガンを心に掲げながら、そのテ ーマに向って、少しでも目標や、目的が、叶えら れるように、心がけて行動をして来ました。平成 26年の、心がけたテーマは「学び準備する年」と 致しました。その内容について、貴重なお時間を お借りしてお話しをさせて頂きたいと思います。

平成 10年 12月まで、私が営んできました、川 越ガスを、M&Aによって退職した、翌年、平成 11年6月に、所沢市内に桑の実会という、社会福 祉法人がありまして、事業の運営内容は、「特別養 護老人ホーム」、「介護老人保健施設」、「グループ ホーム」、「ケアハウス」、「介護つき有料老人ホー ム」、「ディサービス」等と「保育園」も行っている、 社会福祉法人、桑の実会に、評議委員2年、理事 4年、監事4年間の、平成21年5月まで、10年 間ボランティアで、関わってきたこともありまし た。また、ロータリークラブでの、職業分類では、 寳積先生の多大なる、ご配慮によって、医療関係 で、医療法人尚寿会顧問となっております関係か ら、最近特に、新聞、テレビ等の、マスコミがニ ュースで、よく取り上げております、「社会保障制 度」「少子高齢化」「診療報酬改訂」「介護」等々に、 再び関心を持つようになり、過去の関わりの中で、 良く耳にした、用語でもあり、比較的容易に、理 解することもできますので、雑学で憶えたことと も含め、間違ったり、異なった認識もあると思い ますが、「社会保障制度」について、触れてみたい と思います。

社会保障制度とは、私たち一人ひとりが、自らの責任と、努力によって、生活を営んでいますが、

「病気」や「怪我」、「老齢」や「障害」「失業」などにより、自分の努力だけでは、解決できず自立した生活を、維持出来なくなる場合も生じます。この様な、個人の責任や、努力だけでは、対応出来ないリスクに対して、相互に連帯して、支えあい、それでもなお困窮する場合には、必要な生活保障を行うのが、社会保障制度の役割です。

社会保障制度は、私たちの生活を守る、セーフティーネットの、機能を持っています。その保険の種類は、具体的に、「健康保険」、「年金保険」、「介護保険」、「労働災害保険」等々があります。少子高齢化社会の中で、持続可能な安定した財源の確保によって、社会保障制度を守るため、今年の4月から消費税を8%に引き上げを盛り込んだ、社会保障と税の一体改正関連法案は、一昨年、野田政権の基で、成立させ、その後、野田総理は衆議院を解散し、総選挙の結果、自民党が圧勝し、安部政権が誕生いたしました。

安部政権が、打ち出した「経済政策」、いわゆる 「アベノミックス」が登場し、すなわち、三本の矢 として、「異次元の金融緩和」「機動的な財政運営」 「成長戦略」から構成され、その結果、日本の景気 は一昨年の11月を、底として拡大局面に入ったと 考えられ、更に、景気と先行きに、明るさをもた らしたのが、昨年9月7日に、2020年の東京オリ ンピック・パラリンピック開催の決定でもあり、 日本の景気は、かなりの勢いで、好転した状況が 見られ、現在、通常国会に提出され、審議されて いる予算案も、政府が昨年12月24日に、閣議 決定した 2014 年度予算案が発表されると、新聞 の見出しでは、予算案「安部カラー」という大きな 見出しのもと、「防衛費 2.2%伸び」、「原発対応国 が前面に」と言うサブ見出しが、躍るなどしており ましたが、その反面「社説の見出し」の中で、「財政 再建への一歩」と言えるかという、論評の中で、最 大の問題は、歳出全体の3割を占める、社会保障 の膨張と、高齢化の進展などで、自動的に増える 自然増への切込みが足らず、診療報酬の増額改訂 には、疑問が残るという指摘もありました。

また、医療機関等で、購入する備品や、消耗品に も消費税が 5%~8%に 3%増になること等を考慮 すると、新聞の社説で書かれているように、私は 診療報酬の、増額にはなっていないと思います。 また、医療費の削減は、1980年代医師の抑制政策 や、医療費の引き下げから始まり、記憶に新しい ところでは、郵政民営化等で、華々しく活躍され、 5年5ヶ月の長きの政権を、担当した小泉総理の 基では、2006年にスタートした、 医療制度改革 の中で、介護報酬の4.7%の引き下げ、診療報酬の 3、16%の引き下げ、更には後期高齢者医療制度の 新設、療養病床 38 万床から 15 万床とすることを、 目標とすること等が行われ、現在の安部政権では 好循環型、デフレ脱却等のいわゆる「アベノミッ クス」の掛け声の裏側では、初診料、再診料等も 含め、2年に一度の診療報酬の、 改訂も含めた「医

療・介護抜本改訂法案」も審議されており、法案が 成立されますと、2015 年度以降の90日・18日の 制度、急性期病床いわゆる7対1の病床、36万床 を9万床の削減を、目標とすること等と、薬価の 見直し、更に、一例を申し上げれば、資産等の金 額によっては、介護保険利用者の、一割負担が二 割になり、特別養護老人ホームの入所基準が、現 在、要介護1から3になるなど、医療福祉政策の 見直し等によっては、個人負担が増すことに繋が りますし、更に、政府は2020年に、財政収支(プライマリーバランス)の黒字化を目指すが、2020 年の、基礎的財政収支は、消費税が10%になって も、社会保障費の伸びによって9兆3千億円の赤 字になると試算されております。

今後、2016年のマイナンバーの導入と共に、社会保障費の更なる削減が、予想されますので、私も来年の3月を迎えますと、70歳の古希になりますので、今から、社会保障制度に対して、関心を持って、冒頭申し上げましたように、「学び準備」をして行きたいと思います。

多少時間が残りましたので、テレビ等のニュースで見た事、聞いた事の話をしてみたいと思います。

昨年12月22日、NHK総合テレビの、朝6時のニュースの中で、厚生労働省の発表によると、24年度末全国の医師が始めて30万人を超えて303、268人になったと言うニュースの中で、人口10万人に対して、都道府県別の医師の割合が、最も多い県が、京都府で296.7人で、最も少ない県が、埼玉県で、148.2名となっており、約2倍の開きがあります。更に、産婦人科医が最も多い県が、徳島県で、少ない県が、埼玉県で、その差は2.2倍の開きがあり、外科医が最も多い県が、京都府で、最も少ない県が、新潟県で2倍の開きがあるという、報道がありました。

更に、昨年の12月28日、」午前6時45分頃の、同じく、NHK総合テレビの京都府京丹後市の長寿に関するニュースの中で、長寿世界男性高齢記録保持者であった、木村次郎右衛門さんは、1897年4月19日(明治30年)にお生まれになり、昨年6月12日に亡くなられるまで、116歳54日間の長寿であったとの、放送がありました。その中で、京丹後市の100歳以上の方は、全国の市町村の中でも比較的高い市でもあり、その方々の食事は、偏食をしない、腹5~6分で、梅干や、ヨーグルト、夜には、牛乳、カレイの煮付け等の食事をして「食細うして命長かれ」を、合言葉に、京丹後市では、保健士や栄養士さんたちの、協力を得て、京丹後百寿人生レシピの本を、市内の書店等、また、インターネットでも販売をされております。

更に、市内のホテル・旅館では寝込まない長寿御膳を出しているところもあり、いわゆるバランス良い食事をすることが、大切だなあと感じました。 因みに、女性での世界長寿者は、フランスのジャ ンヌカルマンさんで

1873 年 10 月 10 日生まれで、1997 年 8 月 7 日で 亡くなられましたが、122 歳と 164 日の方でした。 また、存命中の日本長寿者は、大阪在住の 1898 年 3 月 5 日(明治 31 年)生れの大川ミサヨさんで、 115 歳と 355 日だそうです。

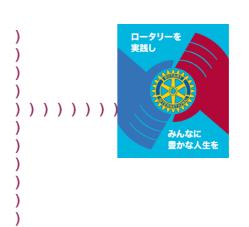
12月22日、医師に関するニュースの数字等含めた内容は、NHKに 電話をして再確認をしてあります。

また、12月28日、京丹後市の長寿に関する内容は、京丹後市役所の長寿福祉課に電話をして、再確認をしてありますが、再度驚いたのは、一般的には、高齢福祉課等の課名がありますが、

長寿福祉課という課名から見ても、健康及び長生きに対する、行政の力の入れ方を感じたのと、全国の医師の割合で、京都府が一番多いというのも長寿との関係に対して、無関係ではないと思いました。そこで、記憶にも新しいと思いますが、昨年の12月10日に、大生病院、院長・寳積英彦先生に「高齢社会と多死社会」というタイトルで卓話をして頂いた中で、様々な疾患や、医療、病院の役割等々、細部にわたって、お話しをして下さいました。医療には、急性期医療と慢性期医療があり、病院にはそれぞれの役割があるということもお話しされていました。

更に、3日後の12月13日には、医療法人尚寿会の忘年会が、総勢560名の方々が集まって行われました。その中で、連携病院である 埼玉石心会病院の院長青山先生の来賓挨拶の中で、特に印象に残ったお言葉は、大生病院との連携をすることで、救急車のたらい回しはさせない等々と、狭山市近郊の地域医療を守るとの、力強いお話がありました。医療法人尚寿会の理念は、信頼と愛で築く、地域医療であり、急性期医療と、慢性期医療との充実した、地域に住む一人としては、非常に心強いものを、感じた次第でございます。

先程、お話しをさせて頂きました、医師の割合の一番少ない、埼玉県の医療を支えて頂いている事に感謝をさせて頂きたいと思います。 以上、ご清聴ありがとうございました。





石田 嵩様(新狭山RC) いつもお世話になりありがとうございます。

栗原(憲)君 新狭山R C・石田様、住協建設・有山様、ようこそお出で下さいました。 小澤パスト会長、会長の時間よろしくお願い致します。

宮野君 住協建設・有山様、新狭山RC・石田様、 ようこそお出で頂きました。 佐々木会員、坂本会員、スピーチよろし くお願い致します。

江原君 イニシエーション・スピーチをお願いしています佐々木様、会員卓話をお願いしています坂本様、本日、お話し楽しみにしております。何卒よろしくお願い致します。

稲見君 新狭山RC・石田様、ようこそお出で頂きました。入会予定の有山幸雄様よろしくお願いします。古谷増強委員長の頑張りに敬服です。坂本会員、佐々木会員、お話が楽しみです。

栗原(成)君 今日はニコニコではなく、シブシブで お願いします。収入無く、体を痛め、散々 な思いをしました。雪はスキー場だけに してもらいたい物です。

中谷君 坂本さん、佐々木さん、本日の卓話よろ しくお願いします。

坂本君 皆様の貴重なお時間をお借りして、卓話 をさせて頂きます。

第一生命 サラリーマン川柳 2014 より 10 点載せてみました。 共感できるものがありますか?

- ・「いつやるの? 聞けば言い訳 倍返し」
- ・「センターは 選挙もなしに いつも妻」
- ・「オレオレ」に 爺ちゃん一喝 「無礼者!」
- ・もの忘れ べんりな言葉 「あれ」と「それ」
- ・飯あるの? 寝ている妻から 「時間外」

- ・誰やるの 炊事洗濯 僕でしょう
- ・帰宅して うがい手洗い 皿洗い
- ・壇蜜は どんな和菓子か 店で聞く
- ・えっわ・た・し? 席を譲られ 聞き返し
- ・休みより 心落ち着く 出勤日

次の例会

第2副SAA 寳積君 片山君

3月11日(火) 12:30~13:30

外来卓話 埼玉りそな銀行 狭山地域統括

狭山支店支店長 登 和 弘 様